３．北関東（地域別調査機関：株式会社ＤＢＪ総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 （北関東）	◎	一般レストラン［居酒屋］（経営者）	・忘年会の予約が徐々に入り出している。予約で埋まっている日も何日かあるため、先行きは好調と予測している。
	◎	一般レストラン（経営者）	・紅葉の行楽シーズンに期待したい。
	○	一般小売店［酒類］（経営者）	・贈答品がそろそろ動き出す頃だとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・値上げとともに客単価も上がっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・年末年始は帰省や旅行、各種イベント開催に伴い、駅の利用者数の増加が見込まれるため、当店への来客数も増加すると見込んでいる。
	○	コンビニ（店長）	・10月は来客数はやや減少で済んだものの、なぜか客単価はかなり低下している。年末年始は来客数、単価共に通常に戻ると期待している。
	○	都市型ホテル（経営者）	・宿泊、レストラン、宴会、婚礼利用とあるが、宿泊の利用人数が前年比２倍となっている。
	○	都市型ホテル（支配人）	・年末に向けて、受注状況から宿泊、料飲部門共に若干良くなる。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・来月以降、宴会、宿泊、レストランいずれも前年の売上実績を超えると見込まれる。宴会に関しては件数、単価共に上昇している。宿泊もスポーツ等の団体利用が多く入っており、売上の下支えになっている。レストランに関しては11月から人気のフェアが始まるため、単価上昇に期待したい。
	○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなっているため、この先も良くなる。
	○	通信会社（総務担当）	・年末年始商戦の時期に販売が伸びることを期待している。
	○	その他住宅［住宅管理・リフォーム］（営業）	・年度末に向けて業績が好調な法人ほど依頼が増えるとみている。ただし、施工能力や対応人員にも限界があり、全てが受注できるかは分からない。
	□	商店街（代表者）	・今後も物価高が続く状況が終わらない限り、景気回復は難しい。
	□	一般小売店［精肉］（経営者）	・依然として値上がりの状態が続いており、買物も控えめになっている。来年、食料品の消費税減税があるため、景気が良くなって活気が出てくるかもしれない。
	□	一般小売店［土産］（経営者）	・国内客、インバウンド共に出足が好調で、土産物などの購買意欲も低くないため、良い状況が続くとみている。
	□	一般小売店［青果］（店長）	・長雨の影響により、農作物の作付けがかなり遅れているため、入荷状況次第である。
	□	百貨店（店長）	・前月同様の状態が継続している。富裕層の売上は堅調な一方、中間層の売上は苦戦して前年を下回っている。来客数の前年割れが継続している状況も変わらない。今後２～３か月で大きく変化するような外部要因はないと想定するため、景気は変わらない。
	□	スーパー（総務担当）	・食料品の消費税減税の予定もあり、それまでは買い控えも増えるとみている。また、物価高も解消の兆しがみえない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・特別上向く要素がない。
	□	家電量販店（店員）	・単価は上がっているものの、総数が伸びていない。
	□	家電量販店（企画担当）	・前年10月以降はパソコン特需の最盛期であるため、前年比ではその反動減の影響が、一層大きく見込まれる。また、秋口からの食料品値上げのほか、電気ガス等の補助金縮小によって消費者の節約志向の高まりが懸念される。
	□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、車種ごとの生産変化はあるものの、総生産量は余り変わっていないようである。また、地域の大規模小売店も、売上は分からないが集客数は多い。
	□	乗用車販売店（従業員）	・景気の先行きに対する懸念材料は、払拭し切れていない。
	□	住関連専門店（仕入担当）	・９月の大雨災害から最近では個人情報の漏えい問題など、ネガティブな話題が多く、こうしたことが新規会員獲得の減少につながっている。
	□	その他専門店（総務担当）	・見積依頼が少な過ぎる。

	□	一般レストラン［居酒屋］（経営者）	・Ｗｅｂシステムのぜい弱性問題対応の影響により、役所、金融、関連企業の人は出るのを控えざるを得ないのか、非常に少ない。
	□	一般レストラン（経営者）	・プレミアム付商品券の利用期間が来年１月末まであるため、その間はそれなりに良くなるとみているが、本当の意味で景気が良くなったとはいえない。
	□	その他飲食［給食・レストラン］（総務）	・主力の給食部門は、収支面で厳しい状況が続いている。労働集約型の業種であることから、人材不足が今後は更に重みを増してくるものと懸念される。特に、首都圏と競合するエリアや早朝や休日勤務のある職場での人材確保が厳しい状況が続いている。何らかの形で、一層の省力化を図らなければならない状況である。
	□	旅行代理店（所長）	・季節変動もあり来訪者数は減少するが、一般的な景気としては、ほぼ変わらない。
	□	旅行代理店（従業員）	・当店のエリアでは大きな動きがない時期に入るため、伸びよりも減少が心配である。
	□	旅行代理店（営業担当）	・来客数の動きからも、良くなる要因が見つからない。
	□	タクシー運転手	・毎回同じで、なかなか景気が良くならない。
	□	通信会社（社員）	・今後２～３か月では変わらないと考えるが、来年に実施される食料品の消費税減税も視野に入れ、注視していきたい。
	□	通信会社（営業担当）	・世界情勢は依然として安心できない状況で、不安要素が払拭できない。
	□	テーマパーク（職員）	・好天により、来園者数が増加しているものの、物価高騰など足元は厳しく、依然としてレジャー費が劣後に回る状況は続いている。
	□	設計事務所（所長）	・このまま年末年始を迎えても、価格高騰が続いたままでは消費につながらない。
	▲	スーパー（商品部担当）	・商圏エリアに新規ドラッグストアの出店が予定されており、苦戦することは間違いない。また、値上げや物価高の影響は、引き続き大きいとみている。
	▲	スーパー（経営企画）	・値上げのペースに賃上げが追い付いておらず、相対的に収入が減っている。
	▲	旅行代理店（経営者）	・最繁忙期が終わり、来年度に向けての準備期間になるため、販売量は減少する。
	▲	通信会社（局長）	・ガソリンなどの補助金等も徐々に縮小されていくのではないかといった不安も大きい。物価高は続いているが、賃上げが追い付いていない。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・電気料金や燃料費の高止まりが続いており、コストへの影響が大きくなっている。
	▲	美容室（経営者）	・農作物の価格高騰のほか日用品の値上げが家計を圧迫し、当店のような業種にしわ寄せが来ると予想する。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・12月の日本銀行の政策金利次第となるが、金利上昇により住宅購入が困難となることが予想される。
	×	一般小売店［家電］（経営者）	・余り良いニュースがない。正直、一般消費者に関しては、生活が厳しいというのが本音ではないかと考える。
	×	家電量販店（営業担当）	・食料品関係の業種に関しては一時的に良くなるとみているが、それ以外の業種は、単価が高騰し、大変厳しい状況である。全国で自然災害が発生し、保険料も前年の３倍くらいに値上げしている。エアコン関連も値上げ幅が大き過ぎて苦戦している。
	×	観光型ホテル（経営者）	・11月から年明け１月の客の動きが非常に悪い。８月のようになる懸念がある。
	×	通信会社（経営者）	・物価高が続いている以上、エンドユーザーの消費意欲が上がるはずはなく、今後も低迷が続く。
企業動向関連 （北関東）	◎	一般機械器具製造業（経営者）	・新たな仕事の動きも出始め、受注残が過去３年で１番の水準にある。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・11～12月末にかけて、繁忙期となるため、やや良くなる。
	○	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・季節要因で多少良くなるとみている。ただし、原材料等の値上がりにどう対応するか悩むところである。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・当社の主力取引先が、年明けから設備改善等の予定があり、大型案件の受注が見込まれる。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・現状のままとみている。なかなか商材が出ない。

	□	金属製品製造業（経営者）	・人手不足ということもあり、仕事自体はあると予想する。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先のうち、今後やや良くなるという会社はほとんどないため、現状と変わらない。
	□	その他製造業［消防用品］（営業担当）	・依然として、物価高などが続いている。
	□	輸送業（営業担当）	・年末に向かい、白物家電の冷蔵庫、洗濯機、テレビ、電子レンジ等や暖房器具の電気カーペット、電気ストーブ、石油ファンヒーター、こたつ等も前年並みの物量を確保予定である。しかし、コスト高も心配である。
	□	経営コンサルタント	・諸物価の上昇が続き、金利上昇と為替変動の下でも、消費行動はやや順調である。一方で、企業の生産活動にブレーキが掛かっており、先行きは不透明である。
	□	司法書士	・何か大きな経済的なアクション、動きがあると考えてはいるが、ほとんど変わらない。
	□	社会保険労務士	・日本銀行が、再度の利上げをしている頃かと考えるが、物価上昇はすぐには落ち着かない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・いまだ食料品の価格高騰は収まらず、かなりの品目が今後も値上げとなる。消費者の生活は一段と厳しくなることが予想される。
	▲	化学工業（管理担当）	・受注量が減少しており、やや悪くなる。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・長引く中東情勢や欧州の暴動等の影響が、今後の生産に影響するおそれがある。物価高の影響もあり、消費者も買い控えの動きがあることから、なかなか自動車も売れない。先行きは一段と不透明感がある。
	▲	建設業（総務担当）	・公共工事の発注見通しをみても業務量が足りず、民間の動きも悪いため、大変不安である。
	▲	金融業（営業担当）	・中小企業の設備投資が控えられている。また、新品から中古品へ着目が移っている。
	×	不動産業（管理担当）	・従業員の欠員状態が続いており、時給を上げるなど待遇改善をしたいが、利益が減少している状況では原資がなく経費削減できる余地も残っていないため、欠員のままでの業務拡大が難しい。退職者が増えると受注も減らさざるを得ないため、人材不足による業績への影響が今後見込まれている。
雇用関連 （北関東）	◎	－	－
	○	人材派遣会社（管理担当）	・スマートフォンの人気機種の新型販売が始まり、下取り検品業務で増員になる。
	□	人材派遣会社（経営者）	・住宅関連については、増改築や新築の着工はスムーズだが、人材募集等ではかなり悩みがあるとみている。時期的には紅葉シーズンから冬に向けて、観光地の人出は多いが、販売や案内等のサービスにおける人材調達はやや難しい状況にある。客の財布のひもはかなり固く、出し渋りもあるようで、変わらない。
	□	人材派遣会社（社員）	・特段、好転するような要因はない。一部で工場新設の話もあるが、数年先となる見込みのため、短期的な人材需要は見込めない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数が、前年同月と横ばいで推移している。
	□	学校［専門学校］（副校長）	・しばらくは景気変動に大きく影響するものはない。
	▲	＊	＊
	×	＊	＊